

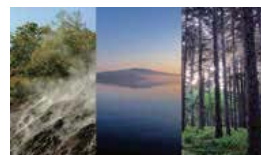


開館当時の公民館

「なつかし写真展」
開館当時の写真、約80点を公民館ロビーで展示します。公民館での催事や昔の街並みなど、懐かしい写真ばかりですので、ぜひご来館ください。
▼展示期間／8月25日(火)～9月3日(木)



▼申込締切／9月4日(金)
▼申し込み・問い合わせ先／町公民館 ☎482・2340
▼展示期間／8月25日(火)～9月3日(木)



摩周の森と湖と火山

本町と白糠町の子どもたちの交流体験を通じて自然や文化を学ぶ「海の子山の子あふるさと交流事業」が、6月27日に開催されました。今年は白糠町を会場に、本町の小学生13人と白糠町の小学生15人が参加。昨年完成した津波避難タワーを見学したり、ボトルの中に見えやシーグラスを入れる「海

津波避難タワーに登った子どもたち

公民館ロビー展

「デッサン教室作品展」

令和7年に設立された公民館認定サークル「デッサン教室サークル」の皆さんによる作品が展示されます。ぜひご来館ください。

▶展示期間／8月1日(土)～21日(金)まで。
※祝日休館



生涯学習だより

▶発行／町教育委員会社会教育課 ☎482-2948 (課直通)

町公民館開館60周年記念事業を実施します！

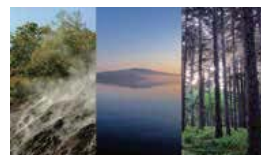
町公民館開館60周年を記念し、次のとおり各事業を実施します。
「札幌交響楽団アンサンブルコンサート 弟子屈公演」
北海道唯一のプロオーケストラである、札幌交響楽団より5人の金管楽器奏者の皆さんをお迎えし、アンサンブルコンサートを開催します。

▼日時／8月26日(水) 18時開演 18時30分開演／19時30分終演予定
▼会場／町公民館講堂
▼入場料／無料
▼曲目／カルメン幻想曲、ハウルの動く城メドレー など ※変更の場合があります。
▼申し込み／不要です。直接会場へお越しください。
▼問い合わせ先／町公民館 ☎482・2340まで。

公民館講座・川湯V.C自然ふれあい行事の参加者募集

町公民館と川湯ビクターセンターでは、次のとおり連携講座を開催します。
「摩周の自然再発見・火山と森と湖の物語」
写真や資料を見ながら、摩周地域の地形・植物・動物を含む自然について座学で学びます。「どんな自然がここにあるのか、なぜこの風景が見られるのか」をわかりやすくもといいききます。身近な自然を見つめ直すことで「再発見」のきっかけづくりを目指します。

▼日時／9月12日(土) 10時～11時30分
▼場所／川湯ビクターセンター講師／同センタースタッフの皆さん
▼定員／15人 町民の方優先です。
▼持ち物／筆記用具
▼参加料／無料
▼共催／屈斜路カルデラ自然ふれあい推進協議会
▼申込締切／9月4日(金)
▼申し込み・問い合わせ先／町公民館 ☎482・2340



摩周の森と湖と火山

Vol.53 令和8年8月 弟子屈町公式チャンネル便り

6月公開のおすすめ動画3選！



川湯地域の子どもから大人まで大集合して開催される川湯コミュニティ運動会！会場でもある川湯小学校は今年で100周年を迎えるよう、今後もさまざまな記念行事が執り行われるそうです！



川湯コミュニティ運動会が開催！



令和8年の4月からついに始まった中心市街地複合施設の建設工事。複合施設だけではなく、その周りを活性化させる動きも始まっています。皆さんもぜひ、これから変わりゆく中心市街地にご注目ください！



中心市街地に関するニュースをお届け！



町内では、長年営業してきた飲食店の事業継承やリニューアルオープンが増え始めています。移住検討中の方にも関連のある町内飲食店事業の話題ということで、今回取材してきました！



町内で増え始める飲食店の事業継承

YouTube
チャンネル登録はこちら！



取材問い合わせ先／まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直通)

弟子屈高校のいまが分かる！弟高ニュース

地域みらい留学「日本まるごと高校フェス」に参加してきました！

vol.24



地域みらい留学とは、日本各地に約200ある公立受け入れ高校の中から、自分の興味関心に合った高校に進学し、3年間をその地域で過ごす国内進学プログラムです。

弟子屈高校は一昨年度からこのプログラムに参加し、道外から進学する生徒を受け入れています。

6月20日・21日には、東京で行われた合同説明会「日本まるごと高校フェス」に生徒2人と教員が参加してきました。会場内にブースを構え、来場した多くの都内在住の親子に、弟子屈高校と町の魅力をたくさん伝えることができました。

参加した生徒からは次のような感想を聞きました

- ・来場者に説明をする中で、弟子屈での生活が貴重なものであることに改めて気づき、幸せなことだと感じた。
- ・全国からの参加校の生徒とも交流でき、自分たちの学校生活をより良くするためのヒントを得ることができた。

生徒にとっても多くの収穫があったようです！

地学協働コーディネーター 萩原寛暢・川上棕輔



多くの来場者にたくさんPRしてきました